TOSHIBA
Leading Innovation

２０１１年３月１５日
東芝メディカルシステムズ株式会社
サービス本部　サービス部

超音波診断装置　計画停電時の対応について

謹啓
　平素より弊社超音波診断装置（以下「本装置」と表記）をご使用いただき誠にありがとうございます。この度は、東北地方太平洋沖地震による、電力需給対応としての計画停電に伴う本装置の障害を最小限にするため、事前に本装置の停止／起動を行う方法に関し下記のとおりご案内させて頂きます。

謹白

－記－

１．電源ＯＦＦに関する指示内容

停電することがあらかじめわかっている場合は、装置のトラブルを最小限とするために、停電する前に装置の電源を切ってください。

・Famio ｼﾘｰｽﾞ・・・通常の電源 OFF（取扱説明書）の手順で問題なし。
・Nemio ｼﾘｰｽﾞ・・・通常の電源ＯＦＦ（取扱説明書）の手順で問題なし。
・Viamo ｼﾘｰｽﾞ・・・通常の電源ＯＦＦ（取扱説明書）の手順の中の「Ｓｈｕｔｄｏｗｎ」で実施。
　長時間停電となることが想定され、データ保存バッテリーの時間に制約がありますので、「Ｓｔａｎｄｂｙ」、「Hibernation」は使用しないでください。
・Aplio／Xario・・・通常の電源ＯＦＦ（取扱説明書）の手順の中の「Ｓｈｕｔｄｏｗｎ」で実施。
　長時間停電となることが想定され、データ保存バッテリーの時間に制約がありますので、「Ｓｔａｎｄｂｙ」は使用しないでください。
・Artida ｼﾘｰｽﾞ・・・通常の電源ＯＦＦ（取扱説明書）の手順の中の「Ｓｈｕｔｄｏｗｎ」で実施。
　長時間停電となることが想定され、データ保存バッテリーの時間に制約がありますので、「Ｓｔａｎｄｂｙ」は使用しないでください。
・上記以外の装置　・・・　通常の電源ＯＦＦ（取扱説明書）の手順で問題なし。

＜　注意事項　＞
　電源をＯＦＦする時に以下のことにご注意ください。

> **⚠注意**　装置の電源を OFF にする際には、プリントや保存していないデータがないことを確認してください。プリント中やデータの保存・呼び出し中は、装置の電源を OFF にしないでください。プリントやデータ保存が正常に行われないことがあります。また CD-R や MO にアクセスしていた場合、それらが破壊されるおそれがあります。

２．「プリント中やデータの保存・呼び出し」に関するお願い

　一度にプリントする枚数や 保存・呼び出しするデータが大きい場合は、停電になるまでに処理を終了してください。終了できないことが予測される場合には、**「プリントやデータの保存・呼び出し」は、患者ごとごとに、若しくは、検査ごとに行い、短時間で終了するようにしてください。**
但し、もし、データの保存・呼び出しなどが完了する前に停電となった場合には、本体にはデータが残っていますので、次の通電時に再度データを送信・呼び出しを実施して下さい。場合により、復帰

できないことが発生しますので、その場合はサービスマンに問い合わせください。

３．Aplioの例

＜　電源ＯＦＦに関する手順　＞

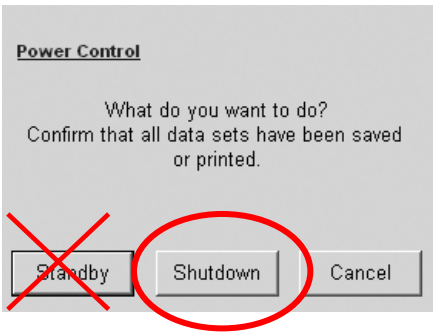
１）電源を切る方法

「取扱説明書 ＜＜基本編＞＞」の第６章 「電源を切る」を参照して、手順に従い「Ｓｈｕｔｄｏｗｎ」を実行してください。

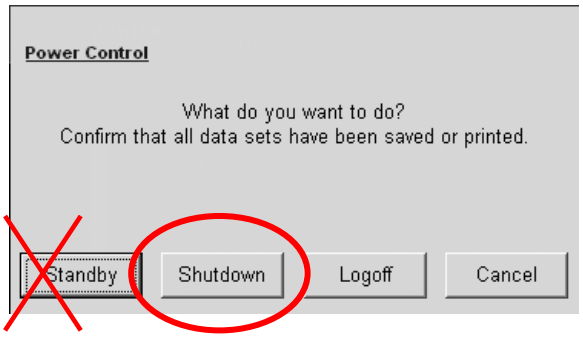
その際、以下に注意してください。

注意：「 を押します。画面に確認メッセージが表示されます。」のとき、
「Ｓｈｕｔｄｏｗｎ」ボタンを使用してください。
「Ｓｔａｎｄｂｙ」ボタンは使用しないでください。

以下に「確認メッセージ」の参考画面を示します：



a. 装置をセキュリティモードで使用していない場合



b. 装置をセキュリティモードで使用している場合

以上